



学校だより

金沢市立森本小学校

令和8年9月1日

みんなを大事に 自分から自分で

災害から学ぶ ～「日常があたりまえ」ではない～

蛇口をひねれば安全な水、スイッチを入れれば灯りやエアコンで快適に、家族と布団で安心して眠ることができる…そのような日常は決してあたりまえのことではないということが自然災害から学ぶことができます。

育友会と町会連合会、父親の会が共同開催した「学校に泊まろう～防災体験」イベント(8月29日・30日)は参加した子どもたちにとって意義深い機会となったことでしょう。日常があることに「感謝」する気持ちを子どもたちに育んでいきたいと思います。



8月27日の豪雨により被害を受けられた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。
地域や保護者の皆さまには、日頃より子どもたちの安全確保にご協力いただき、誠にありがとうございます。本校は一時的に指定避難所として開設されましたが、状況の改善により短時間で解除されました。幸い、教育活動に影響を及ぼすような施設被害はなく2学期を迎えることができますが、今後も引き続き、天候の急変等には十分留意して、子どもたちの安全確保に努めてまいります。

熱中症予防について

厳しい残暑が続いており、登下校中や校内での暑さ対策が引き続き必要となっています。
森本小学校では、子どもたちの熱中症予防の観点から、冷却グッズの使用を推奨しております。

【登下校時に効果的な冷却グッズの例】

- ・日傘
- ・冷却タオル（濡らして使うタイプ）
- ・ネッククーラー（保冷剤を首に巻くタイプ）

※ハンディ扇風機など落として壊れるものや子どもの手がふさがるタイプのものなどは推奨しません。



「向上」の2学期へ

金沢市では、各学期を次のように位置づけ、学びのステップを意識した指導を大切にしています。

- | |
|---------------------|
| 1学期「基礎」:学力向上の基礎づくり |
| 2学期「向上」:基礎を生かした学力向上 |
| 3学期「充実」:成長の自覚と次への意欲 |

まちがいや失敗が認められて

やり直しの機会が与えられる森本小学校

始業式で子どもたちにつぎのような話をしました。

『森本小学校はまちがいや失敗が認められ、「やり直し」の機会が与えられる学校にしたい。

まちがいや失敗は挑戦したことの証です。さらに良くなっていくための大切なプロセスです。自分で振り返りながら新しい方法を見つけて、時には友だちに力を借りながら答えを探していく。そのように成長していく2学期にしましょう。』

それが2学期のステップ「向上」です。



これまでの一斉指導スタイルに加えて、子どもに学びを委ねる場を増やしていきます。子どもたちに「自分は思うのか」「自分はどうしたいか」「何ができるのか」を問いながら、主体的・対話的で深い学びへの実践を積み上げていきます。

無断で学校の外へ出ないことの指導と児童の確実な引き渡し

石川県内の学校において、授業中トイレにいった児童が学校の敷地内から出ていったまま戻らなくなった事件がありました。

森本小学校では、子どもたちに登校後に無断で学校を出てはいけないことを指導します。これまでには、忘れ物に気づいて慌てて自宅に戻ったり、気持ちの不調から教室以外の場所でひとりになって気持ちを落ちつけたりする姿も見られました。児童の安全確保について教職員で対応の確認をし、些細なことでも情報を共有することを確認しました。

また、遅れて登校する場合や早退の場合においてもこれまで通り、保護者と教職員の間で確実な引き渡しを行うことを基本としていきますのでご理解とご協力をお願いいたします。

お知らせ

夏休み作品展について 場所 2階体育館

9/2・9/3 9時から16時30分まで

9/4 9時から12時まで

令和8年度卒業式

令和8年3月16日(火)午前10時